

糸我小学校だより

令和5年2月28日①



最近、テレビのバラエティ番組でよく観るものがあります。俳句を作った芸能人が、その俳句を先生に添削してもらい、段位を上げて名人を目指すという番組です。俳句の先生と芸能人の方が軽妙なやりとりをしながら添削していくのですが、これがなかなかおもしろくて…。

俳句はうえ、「世界一短い詩」と言われるとおり、たった17文字の中に、目の前の情景を見て感じた喜怒哀楽などの感情が込められたものです。その技法の巧みさ、奥の深さに感心してしまいます。俳句や短歌は、日本の伝統文化のひとつでありながら、今も子供からご年配の方まで気軽に楽しめるものです。そんな俳句や短歌に挑戦したり、俳句・短歌ではありませんが五・七・五の標語づくりに挑戦したりしていますので紹介します。

第17回有田市文芸大会

有田市文芸大会で、次の子供たちが受賞しました。

<小学生 俳句の部>

【佳 作】 よっこらしょ ぽんととびだす さつまいも 2年

<小学生 短歌の部>

【佳 作】 あまずっぱい みかんのひみつ ねむってる いとがの山は おたからの山 3年

【佳 作】 楽しみは お風呂の中で 歌うこと 静かな部屋に 声ひびくとき 6年

育友会標語 優秀作品決まる

冬休みに子供たちがお家の方とともに取り組んだ育友会標語。たくさんの作品が応募されました。どの子どもとても子供らしい素直な目線でものごとを捉え表現しているのに感心させられます。そんな子供たちの作品を育友会三役、文化人権部員、教職員で審査した結果、次のように優秀作品が選ばれました。優秀作品は、校内に掲示しています。

「あいさつ」の部

あいさつで 相手も自分も 笑顔だよ	4年
おはようと 街に広がる 君の声	5年
こんにちは 地域のつながり あたたかい	6年

「人権」の部

どうしたの 話を聞くよ たすけるよ	3年
言っちゃダメ 相手が傷つく その言葉	5年

「登下校の安全」「交通安全」の部

とう下校 おしゃべりむ中は 赤しんごう	2年
あぶないぞ 見る待つ止まる かくにんを	5年

「体力向上」「健康」の部

生活リズム整えば 体も心も おどりだす	3年
元気な子 朝昼晩の 食事から	4年

※選には漏れましたが、良い作品がたくさんありました。また来年、たくさん応募してくれるのを楽しみにしています。

令和4年度 人権標語、防災標語で入選しました

少し前になるのですが、有田市の人権標語の募集がありました。これは、有田市が、人権啓発、教育の推進事業の一環として、有田市内の小学校4年生から中学校3年生までの児童・生徒及び市民を対象に人権標語を募集しているものです。そこで入選し表彰された作品です。

【入 選】 「大丈夫？」 その一言でも 百点だ！ 6年

さんは第1回有田湯浅警察署防災標語コンクールでも受賞しています。次の標語です。

【佳 作】 まずにげて 自分の命を 最優先 6年

※この作品は有田湯浅警察署の防災標語コンクールのポスターにも掲載されています。

令和5年度 前期児童会役員決まる

2月9日（木）に前期児童会役員選挙の立会演説会と投票が行われました。今回も立会演説会はオンラインで行いました。堂々と公約や推薦理由を述べる立候補者や応援演説者の子供たちがとても頼もしく思えました。

2月15日（火）、新旧役員の引き継ぎ式を行いました。前児童会役員の先輩たちの熱い思いがしっかりと新役員の子供たちに引き継がれました。新役員のみなさん、学校を良くするためにがんばってください。



↑令和5年度前期児童会役員の子供たち

会 長（5年）

全員が「楽しい」と思える学校にしたいです。そのために、友達や他の学年の子に積極的に挨拶をし、仲間に入れない子がいたら「一緒に遊ぼうよ」と声かけをしたりして、全員が「楽しい」と思える学校を目指してがんばります。

副会長（5年）

ぼくは、糸我小学校を全員が仲間と助け合える学校にしたいです。そのために、まず自分が、ケガをしている子を助けてあげたり、困っている子がいたら「大丈夫」と声をかけてあげたりして、助け合う姿を見せられるようにがんばります。

副会長（4年）

全員がだれにでも挨拶できる糸我小学校にしたいです。そのために、まず自分がみんなの手本になれるように、大きな声で挨拶することをがんばります。よろしくお願ひします。

書 記（5年）

私は、糸我小学校を「困った時に仲間と協力して、全員が安心できる学校」にしたいです。そのために、困っている人がいたとき積極的に「大丈夫？」や「話聞こうか？」などの声かけをすることをがんばります。よろしくお願ひします。

書 記（4年）

全員が笑顔で楽しく通える学校にしたいと思います。そのために、全員が楽しめる企画を考えて提案したり、みんながあいさつをするときに笑顔で返したりできるようにがんばります。

糸我小学校だより

令和5年2月28日



命の学習を実施

1月17日（火）、「命の学習」を4年生と5年生で実施しました。保健センター、助産院の方が、ゲストティーチャーとして学校に来て、指導してくださいました。

「自分たちがどのようにして生まれてきたのか」「赤ちゃんはどのくらいの期間をかけて大きくなっていくのか」「赤ちゃんが産まれてから、どのようにして大きくなっていくのか」などを学習することで、みんな一人一人が大切に育てられてきたことを学びました。

また、聴診器で自分の心臓の音を聞いて生きていることを実感したり、赤ちゃんの人形を抱き、小さい卵子から大きく成長することを体感したりして、命の大切さを感じていました。



人権学習を実施

2月7日（火）、長谷川夫妻をゲストティーチャーとしてお招きし、6年生で人権学習を実施しました。パーチェット病に罹り視力を失った好和さん、先天性のスタージ・ウェーバー症候群のため顔に痣がある志穂さん。夫妻は自身の体験談をとおして「やればできる」「目標をしっかりとってあきらめないでほしい」と穏やかな口調の中にも熱のこもった声で語りかけてくれました。子供たちは、将来生きていく上でとても大切なことをたくさん学ばせてもらいました。今回学んだことを今後の生活に活かしてほしいと思います。



育友会主催の 学校保健委員会開催

2月14日（火）、学校保健委員会が開催されました。3年ぶり」の開催となった本会、学校医の垣本内科医師、九鬼耳鼻科医師、大浦歯科医師、抜井薬剤師の先生方に加え、育友会三役、保健給食部員と体育部、本校職員も参加しました。垣本先生には「コロナと肥満と糖尿病」と題してご講演いただき、肥満と糖尿病のシステムやその症状、対策についてお話しいただきました。また、本校児童の健康状態について、前久保養護教諭から説明させていただきました。ご参加いただいた方に健康について考えてもらう良い機会となりました。

寒風の中での なわとび大会

1月30日（月）、なわとび大会を開催しました。子供たちは縦割り班のチームに分かれ、一人技やみんなで跳ぶ八の字跳び、一斉跳び等に挑戦し、それらの合計得点を競い合います。この日は結構風が吹く寒い日で、なわとびをするにはあまり良くないコンディションでしたが、授業や休憩時間に練習してきた成果を発揮しようと元気に挑戦し、応援にも熱が入り白熱した大会になりました。



授業参観、ありがとうございました。

2月3日（金）、授業参観を実施しました。昨年度は、湯浅保健所管内で、新型コロナウイルス感染症の罹患者が過去最多となる状況だったため、中止となってしまいました。今年度は、学年最後となる授業参観を無事実施することができました。各学年の担任は、それぞれの思いをもって授業を行いました。子供たちの様子を観ていただき一年間の成長を感じていただくことができて良かったです。保護者の皆さまには一年間、ご理解・ご協力いただき本当にありがとうございました。



書初展の練習に特別非常勤講師の先生

和歌山県の各地方で、毎年、書初会が開催されています。その有田地方書初会に作品を出品し金賞が獲れるようにと、子供たちは昨年末から少しずつ練習をしていました。

その練習に、特別非常勤講師として嶋田暢子先生に来ていただき、各学年の担任といっしょに、一人一人丁寧に指導してもらっています。子供たちは教えてもらったことに気をつけながら、手本をよく見て一生懸命練習に励んでいました。

